

服装等〔クールベスト、クールヘルメットなど〕の種類と特徴

環境・健康

熱中症の恐れのある作業を行うときは、透湿性や通気性のよい作業着、帽子やヘルメットを着用する必要があります。また、太陽光等の輻射熱を反射する遮熱ヘルメットの着用が望まれます。暑さ指数（WBGT）が許容基準値を超える作業を行うときは、クールベストやクールヘルメットの着用により体温の上昇を防止する必要があります。

下記に服装等〔クールベスト、クールヘルメットなど〕の種類と特徴を示しました。送風ファンは気流による清涼効果があります。0℃の保冷剤は温度変化が大きく冷え過ぎることがありますが、短時間の使用で高い冷却効果を得たい場合は有効です。相変化物質冷却剤は 28℃付近で溶けたり固まったりする特殊な素材を使用した冷却剤で、一般の保冷剤と比べ冷え過ぎず適温を長時間持続します。

服装等〔クールベスト、クールヘルメットなど〕の種類と特徴

| 服装等 | | 特徴 |
|--------------------|----------------------------|--|
| 作業着 帽子、ヘルメット | ・透湿性、通気性のよい 服装、帽子やヘルメット | ・クールビズ的な効果 ・暑さ指数（WBGT 値）が基準値を超える作業では対策が不十分となる |
| 遮熱ヘルメット | ・太陽光等の輻射熱を反射 | ・太陽光等の輻射熱によるヘルメット内部の温度の上昇を低減する |
| クールベスト クールヘルメット | ・送風ファン | ・送風ファンの気流による清涼効果 ・バッテリーは充電式 |
| | ・0℃保冷剤 (0℃で凍る保冷剤) | ・保冷剤の温度が 0℃から上昇するため冷え過ぎが生じ、温度変化が大きい ・短時間の使用で、高い冷却効果を得たい場合は有効 |
| | ・相変化物質冷却剤 (PCM 冷却剤) | ・28℃付近で溶けたり固まったりする特殊な素材（相変化物質）を使用した冷却剤 ・一般の保冷剤と比べ冷え過ぎず、適温を長時間持続する ・保管に冷凍庫が不要 ※気温 28℃以下の部屋で機能が回復する ※冷蔵庫に入れると機能が早く回復する |

kes サポート

| 課題 | kes サポート |
|----------------|--------------------------------|
| 温熱環境の調査 | 作業環境測定 |
| 衛生診断、リスクアセスメント | 作業環境測定結果等に基づく衛生診断、リスクアセスメントの実施 |
| 衛生意識の向上 | 労働衛生教育 |